

授業科目 精神障害作業療法評価学

| | | | | |
|--|---------------------------|--|-------|----------------------|
| 【担当教員名】 早川 昭 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 作業 |
| | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 必修 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |
| 【カリキュラムポリシーとの関連性】 | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
| ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 【概要・一般目標：G10】 精神障害、心理及び社会的要因に問題点を有する対象者に作業療法介入を行うに際し、必要な評価の視点・知識・態度・技術を理解する。 | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SBO】 | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神医学で学んだ精神疾患の特徴と治療について説明できる。 2. 国内外における精神科医療と保健福祉施策の歴史と現状について説明できる。 3. 精神障害作業療法における評価の意義と構造を理解する。 4. 面接、観察、検査による評価方法を理解し、実施することができる。 5. 評価結果に基づき、問題点を焦点化する方法を理解する。 6. リハビリテーション目標の設定とプログラム立案までの過程を理解する。 7. 仮想症例に対して適切なリハビリテーション目標設定とプログラム立案を実施することができる。 | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | | SBO番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
| 1 | オリエンテーション 力動精神医学 | | 1、2 | 講義 |
| 2 | 防衛機制、集団力動 | | 1 | 講義 |
| 3 | 描画による評価 | | 3, 4 | 講義、演習 |
| 4 | 箱作作法 | | 3 | 講義 |
| 5 | 箱作作法 | | 4, 5 | 演習 |
| 6 | HTP | | 3 | 講義 |
| 7 | HTP | | 4, 5 | 演習 |
| 8 | 一般職業適正検査 | | 3 | 講義 |
| 9 | 一般職業適性検査 | | 4, 5 | 演習 |
| 10 | 内田クレベリン | | 3 | 講義 |
| 11 | 内田クレベリン | | 4, 5 | 演習 |
| 12 | 競争的作業について | | 3 | 講義 |
| 13 | 競争的作業について | | 4, 5 | 演習 |
| 14 | データのまとめ Discussion まとめ | | 6, 7 | |
| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | 描画テスト | 高橋依子 | 北大路書房 | 2011・2,415円 |
| | 精神障害と作業療法 第3版—治る・治すから生きるへ | 山根寛 | 三輪書店 | 2010・3,990円 |
| 参考書 | 作業療法学全書5 精神障害 | 日本作業療法協会 | 協同医書 | 2010・3,990円 |
| | 精神科作業療法の手引き | 松井紀和 | 牧野出版 | 2000・2,625円 |
| その他の資料 | | | | |
| 【評価方法】 出席、授業態度、レポート、定期試験等から総合的に判断する。 | | 【履修上の留意点】 配布する資料のほか、参考文献などには目を通しておくこと。 演習もあるため遅刻・欠席は厳禁。そのための体調管理に十分注意することも演習と同じように重要である。 | | |